

空中散布型遭難者救助支援

提案者名

日高 拓朗

連絡先

pep4nex@yahoo.co.jp

- 提案の概要やアピールポイントについて1文程度で記載してください。
⇒一刻を争う遭難者救助において、発見にかかる時間を多数接続やセンシングや自動運転の技術で短縮。
- 提案内容が、どのように課題の解決につながるか、もたらされる効果等について記載してください。
⇒上空からの撮影では判別できないような、森林エリアや雪山における救助活動を支援します。

【現状課題】

遭難者の搜索活動において、地元住民や消防や自衛隊が人海戦術で実施しており、発見や救助までに人手と時間がかかる。特に、森林や雪山等の自然環境においては、空からの発見が困難であり、救助する側も危険が伴う。山間部には、費用対効果の観点もあり、常設的な固定回線の敷設や、IoTデバイスが設置がしにくい。

【提案内容】

ドローンを活用し、センサー搭載のIoT端末を散布することで、地上付近の詳細な情報を瞬時に集めることができる。大量のデバイスを広範囲にまき散らし、人感・温度センサー、動画収集等で、付近の情報を集め、発見までの時間短縮及び、人が立ち入るのが困難なエリアで効果を発揮する。デバイスは自立移動が可能なものとし、救助終了後、もしくは一定期間経過後、自動的に1か所に集まり回収が容易な状態となる。

【5Gの特徴】

デバイスからの動画収集に超高速通信を活用し、多数接続により一時的に大量のデバイスと接続性を持つ。山間部などは固定回線がなく、無線の特性が大いに活きる。

【将来的な活用】

防水性が備われれば海洋への応用、災害時の使用なども期待できる。

